時事新報

第千二百四十號

明治十九年四月三日　土曜日
舊丙戌二月廿九日（癸巳）
日出午前五時四十六分　日入午後六時二十二分
月出午前五時五分　月入午後五時二十一分
滿潮午前十一時二十九分
（西暦一千八百八十六年）

時事新報定價

一枚金三錢○一箇月前金六十五錢○三箇月前金一圓八十錢○六箇月前金三圓四十錢○一箇年前金六圓六十錢○郵便税一箇月金廿六錢○一箇年金三圓十二錢○左ニ掲クル各地ニ於テハ該地賣捌所ヨリ郵送料無料ニテ配達致候（但本社ヨリ直接郵送スルモノハ此限ニアラズ）

東京、横濱、横須賀、從神奈川至小田原驛、兩毛七湯、大坂、京都、大津、神戸、兵庫、中山道、熱山、笠岡、岡山、和歌山、仙臺、高知、下ノ關、長崎、名古屋、岐阜、岡崎、四日市、津、松坂、山田、福島、新潟、二本松、白石、宇都宮、青森、弘前、函館、鹿沼、八王子、千住、草加、粕ケ谷、越谷、杉戸、幸手、久喜、栗橋、古河、佐倉、東金、市川、八幡、船橋

其他同地近傍配達便宜ノ個所ハ同シク郵送料ヲ不申受候

時事新報廣告料（前金）一行ニ付

一行廿四字詰	一日限	二日以上六日迄	七日以上十五日迄	十六日以上
自一行至十行	十錢	八錢	七錢二厘	六錢八厘
自十一行至三十行	九錢	七錢	六錢三厘	五錢九厘五毛
三十一行以上	八錢	六錢五厘	五錢八厘五毛	五錢五厘

時事新報

日本國の鐵道事業　十六

米國の鐵道は決して危險ならず

米國は世界中にて鐵道建築費の最も廉價なる國なれば日本國の鐵道事業もまた之れを米國に則るべしとてその事實理由を陳述したる傍ら餘論鐵道軌條の廣狹論に渉りて日本國の鐵道線路は須らく今に及んで廣軌道に改築するの大英斷を決行すべしと論告したる所なりしが今や談再たび本條に戻り、實は前記の如く米國鉄道工費の廉なるは爭ふ可らざるの事實なれども世の諺にも安物買ひの錢失ひとあり、徒に建築費の廉なるのみ眩迷して疎末なる鐵道軌條を布き又は軟弱なる機關車、客車を運轉し爲めに列車の破裂逸出等を引起し可惜人間の生命を戕ふ不幸あらんも測られず是れ大に勘考すべき點にして米國は鐵道如何に廉とは云へ浮かと模し難しとする人なきにも知らず然れども我輩は今日まで米國の鉄道にのみ限り怪我即死の多かりし例をも聞かず、よし又讓りて此を等は變の多しとするも百千萬人中の一二人が文明の利器の爲めに不幸なる犠牲者たるも社會進化の大法、邦國文明の達觀よりして視るときは素より以て憂ふるに足らざるなり然れども惻隱は仁の端にして世界の人の口の端は兎角に鐵道死傷の事を喋々し中には米國の鐵道は他の評點に於ては一箇の申條も無けれども死人怪我人の多きは畢竟その鐵道建築の疎末なる咎にして決して摸すべきものにあらずなど唱ふ米國鉄道と偽けんとする者あれば世間一般の人も亦これに同じ事實統計の比較如何をも探らず但漠然と米國鐵道は怪我多しと一概に吹聴せられて迷惑を蒙むる事なきにも非ずと雖どもされ徒に世人の惻隱心を利しその虚に乘じて米國鐵道の實体實用と蔽はんとするものなり然れども事實の明光は以て遮る可らず苟も米國の鉄道に限り特別に死傷多しと云ふ證左もあらば我輩は斯る言論の爲めに米國鉄道の利の湮滅せざらんことを希圖して已まざるなり頃日我輩は更に一歩を進め英米二國既往六箇年間は鉄道死傷者を對比して二三の意見と附記し日本の鉄道と米國風にするも決して實際の恐れなき次第を示さん

既往六箇年間英國にて鉄道死傷者の全數

年	死者ノ數	傷者ノ數	死傷合計數
一八七九年	五三七人	二、五五六人	三、〇九三
一八八〇年	同 五七五	同 二、九八四	同 三、五五九
一八八一年	同 五四四	同 三、四三一	同 三、九七五
一八八二年	同 五七一	同 三、三七九	同 三、九五〇
一八八三年	同 五六五	同 三、一一二	同 三、六七七
一八八四年	同 五七七	同 三、一八三	同 三、七六〇

同年間米國に於て鉄道死傷者の全數

年	死者ノ數	傷者ノ數	死傷合計數
一八七九年	一八五人	七〇九人	八九四
一八八〇年	同 三一五	同 一、一七二	同 一、四八七
一八八一年	同 四一四	同 一、五九七	同 二、〇一一
一八八二年	同 三八〇	同 一、五八八	同 一、九六八
一八八三年	同 四七三	同 一、九一〇	同 二、三八三
一八八四年	同 三八九	同 一、七六〇	同 二、一四九

右の中第一表は昨明治十八年八月二十九日の倫敦經濟雜誌に據り又第二表は同二月十三日の紐育發兌鉄道雜誌の統計を基にしたるものにして死傷者とあるは通常旅客并に鐵道役夫の死傷を併せ稱したるなり今この表中互に誤算あれなしとせば英國の鉄道死傷者は毎年平均三千六百六十九人、米國は同く一千七百九十九人の割算にして米國の鉄道延長は大數英國の六倍以上（英の鉄道一萬八千六百餘里、米の鉄道十二萬八千四百餘里）あるにも拘はらずその死傷數は却て英國の半數にも下るとせば論者が米國の鉄道と危險多しとなすは何を證左になしたるものか我輩に於て頗とこれを解する能はざるのみならず前記の統計に若し大相違もあらずとせば凡そ世界中に米國の鉄道ほど工費廉にして危險少なき鉄道なしとまで斷言するを憚らざるなり何となれば概算英國鉄道の建築費は米國鉄道の四倍よしてその危險死傷の度は却て逆にまれに二倍なればなり乍去この上に米國の爲めに謀りて議論の均重を取らんとならばまた精密なる線路の延長、幷に列車の經過したる延長里數（例へば十里間の鉄道を一箇年中一百回の列車が通過したるものとせばその延長里數は一千里なり）人口及び旅客の數、每人一箇年中乘車の危險と犯すその度數等にまで照し合せて逐一明細に計算と遂げざる上更に新に開業したる鐵道線路と舊線路に對して列車逸出、軌條破綻の虞の多きこと、或は新線路に於ては不熟練なる機關手ありて避け得べき衝突とも避け得ずして大怪我を出來せしむると、鉄道營業は繁閑大小あて變事の有無多少にも關係を及ぼすと等を參考せざれば米國鉄道に保護となるの議論を得るに疑ある可らず現に或る米人が米國鉄道の危險は英國鉄道よりも寡少なるを證するためこれ等の對照を試みたるともあり今爰にこれと登記するは我輩の辭せざる所なれども恐く書と信せば書なきに若かず單に統計數量の表面とのみ妄信して即案を下し英國の鉄道は米國の鉄道よりも斯くの危險あり衝突ありとて之を趣ゆるが如きは却て識者の笑と招く次第なして且つは我輩の精神も故さらに米國鉄道の無難を證し其安全を保險する者にもあらず、事實亦米國の鉄道にも正よ同一様の危險ありと見做されても差支あるとなき唯世の論者中に廉價なる米國鉄道はその廉なるや已に危險多きとて漠然の申し唱へより遂よ米國鉄道の實体と傷つくるあらんと恐れ序でながら之れを記して讀者の安心を求めんと欲するのみ

（未完）

官報

○文部省令第六號

北海道廳府縣

師範學校ノ卒業者ニシテ教職ニ從事スル者ハ自今毎六箇月其服務ノ狀況ヲ該學校ニ報告セシムヘシ

但既廢ニ係ル官立師範學校ノ卒業者ハ東京師範學校ニ同府縣立師範學校ノ卒業者ハ其學校ノ在リシ地方ノ所屬府縣立師範學校ニ報告セシムヘシ

明治十九年四月二日　文部大臣森有禮

○乙第三十三號

芝區芝愛宕町一丁目愛宕神社境內地自今公園ト相定メ愛宕山公園ト稱ス

右告示ス

明治十九年四月二日　東京府知事高崎五六

○大藏大臣の達　主税局官吏地方出張旅費日當は從前滯在を除き總て四月一日以降當分の內本額十分の一を減して支給すべき旨一昨三十一日主税局へ達せり

○和歌山縣虎列剌の景況　和歌山縣にて去る二月五日以來同三月十七日まで虎列剌病患者十二名（內死亡九名）ありしが皆散在性の特發に係り傳染の跡を認めざりしに同月十八日より二十九日に至る十二日間に海部郡雜賀崎浦の一局部に於て患者十七名を發生し內九名は死亡し病勢稍々劇烈にして著しく傳染の兆あるにより人民船舶の交通を遮斷せんことを內務省へ伺出でたるを以て直に許可したり爾後三十日三十一日兩日の新患者は七名其他同郡加太浦に一人日高郡比井浦に五名の患者ありしも雜賀崎の外蔓延の景況なしと云ふ（內務省報告）

○在釜山港我が國民の戸口數　本年二月の調査に據れば目下在朝鮮國釜山港我が國民の戸數は四百六十、人口千八百五十二、內男九百五十二人、女九百人なり又身分區別は士族三百九十八（男百九十五人女百九十五人）平民千四百六十二人（男七百五十七人女七百五人）なりと之を前月に比すれば戸數に於て三を増し人口に於ては二十一を減せり（外務省報告）（以上五件本年四月二日官報）

雜報

○朝鮮日誌　第九　京城に於て井上角五郎記

○二月十八日より廿日迄晴天、氣候は漸く暖溫になりたれど朝夕は華氏寒暖計二十度內外なり道路は雪解けにて泥濘あるもと甚し十九日余は往きて李輔國載元に逢ひたるが氏は當時內務府督辨にして頗る開國主義の人なり又金判書允植の宅を訪ひたるが氏は此程より病氣にて外衙門に出勤せず○同廿三日郵船會社の汽船美濃丸は仁川を出帆して歸航したり在仁川の該會社員村井信晴氏より余に送りたる書に曰く本年は冬初甚だ暖なりしが此頃に至り俄に寒く特に海氷の厚くして且堅きは土民の口に徴するに三十年以來の事なりと故に船貨の積み卸しに困難を極め爲めに出帆も往々期限に後れたり云々、昨年は京畿一道の米穀收穫は平年に比して凶歉なりしが爲め米價は日々に騰貴するとなるが今其騰貴の大略を聞くに昨冬十一月には上米は朝鮮升一升にて當五錢一兩七十五文十二月には一兩八十文本年一月には一兩九十文にて其月末には二兩に騰り昨今は二兩二十五文となり下米にても一兩七八十文の高直を現はしたり當五錢も漸次に騰貴し昨十二月には銀一圓に二十兩本年一月には十八兩より十七兩まで昨今は十五兩三四十文となりたるが斯く米價と通貨との共に騰貴したるより貧民の困難最も甚しき趣なり併し盜賊の患は舊曆正月以來稍減少し各道の盜賊も大に減じたるよし○同廿三日朝鮮週報第四號を出版せり○同廿五日闕內にて大王大妃八十の賀あり百官孰きも參賀をなしたり、博文局主事李根永氏は母の喪につき本日官

を免せられたり當國にて
じて家居せるを例とすれ
商某が余が寓に來る此人
云ふと設け其社長となん
會社は資本金五萬兩（三
し王室の補助を受けて現
城、富平及び仁川の間に
る積りにて其着手とて四五
內俄かに當五錢廢止の
戸して賣買取引をなさま
り下等人民は大よ困却し
往來せしに至る所に米を
買求する能はずして空
テモ視る可らざる狀況
當五錢は決して廢せざ
午よりは各店皆戸を開き

○福岡通信　三月廿五日

○九州大懇親會　は明後
開會する都合にて廿七日
の訪問、夜に入りて政談
割擬定れよし今回の會
に會主よりは熊本、人吉
福岡、久留米、柳河、筑後
の新聞社へ通知をなし
ことなれば當日は必ず

校設立の企　久留米
は今度數萬圓の金を投
設立せんと家扶師富某
志者と協議中のよし又
へ來遊する等なりと○
本縣共同競馬會社は明
び已に豫定の株高に超
せしに久保村警部長が
當撰し其他幹事審査掛
も撰定したり又東公園
已に竣工し愈來る四
執行する筈のよしにて
大競馬會を催す都合な

○平均相場　日本橋魚
十七年迄七年間鶏及び
の如しと

品目	十一年	十[illegible]年
鶏 一羽	二五一	[illegible]
鯛 一尾 尺鯛ノ下	五〇〇	[illegible]
平目 尺三寸平均	二八〇	[illegible]
カレイ 同平均六	[illegible]	[illegible]
コチ 同平均一尺	[illegible]	[illegible]
鱸 同	[illegible]	[illegible]
鮪 同平均尺二寸	[illegible]	[illegible]
イナダ 同	[illegible]	[illegible]
ブリ 同	[illegible]	[illegible]
鮭 同平均九百目	[illegible]	[illegible]
鰹 同平均五百五	[illegible]	[illegible]
アカエイ 十目	[illegible]	[illegible]
セイゴ 同	[illegible]	[illegible]
イナ 同	[illegible]	[illegible]
鯖 十貫目 同	[illegible]	[illegible]

○官舍増築　縣本部